



福島県立石川支援学校 学校だより



令和元年度の学校評価のまとめをお知らせします。

学校経営・運営ビジョン ～基礎・基本を大切に、さらなる深い学びを～

【学校教育目標】 児童生徒一人一人の障がいの状態及び特性に応じ、自立し社会参加ができる人間を育成する。

1 自立につながる資質・能力の育成 ①児童生徒一人一人を尊重した指導を行います ②成長とともに抱える心や体の問題に向き合います ③防災と安全教育の充実を図り、命の大切さを伝えます	2 学びの成果を日々の生活に生かす力の育成 ①自立活動の視点を取り入れ、指導の充実を図ります ②日々の授業の充実に努めます ③外部講師を活用し、教員の指導力の向上を図ります	3 地域とともにある学校づくり ①地域や関係機関との連携を進めます ②体験活動の充実を図ります ③学校の取り組みを積極的に発信します ④特別支援教育のセンター的機能を充実させます
---	--	--

学校評価アンケートの実施に際し、保護者の皆様から多数の回答をいただきました。ご協力、誠にありがとうございました。

1 アンケートの回答状況

評価者	対象者数	回答数	割合
教職員	77	77	100%
生徒 (中高等部通常の学級)	58	56	96.6%
保護者	117	96	82.1%

2 アンケートの結果

※アンケート詳細データはホームページに掲載してあります

保護者、教職員のアンケート結果では、保護者は全項目、教職員は20項目中19項目において、A、Bを合わせた評価が90%を越えていましたので、概ね目標は達成され、子どもたち一人一人の学びを支える学校作りと教育活動を実践できたと判断しています。評価結果の概要は以下のとおりです。

<注：評価基準> A(そう思う)、B(おおむねそう思う)、C(あまりそう思わない)、D(そう思わない) E(分からない)

評価が高かった項目：A評価が75%超で、C・D評価が0%の項目。(「最も良い」の評価)

保護者	「教育目標、教育・経営方針の説明」 「適切な健康管理と保健指導」 「適切な安全に対する配慮、対応」 「保護者との共通理解、意見の反映」 「授業参観やPTA活動の時期等」 「家庭、学園、地域との連携」 「交流活動や体験活動の取り組み」 「広報誌、ホームページでの発信」
教職員	「教育目標、教育・経営方針の説明」 「関わる力を育てる指導」 「生徒のニーズに応じた進路指導」 「栄養士と協働した食育」 「防災に関する意識の育成」 「一人一人に応じた指導」 「外部専門家を活用した授業研究」 「広報誌・学校ホームページの活用」 「共に学びあう環境づくり」 「地域のニーズを踏まえた相談の充実」 「地域と連携した安全確保」

評価が高いが課題も見られる項目：A・B評価が75%超だが、C・D評価があった項目。(「概ね良い」の評価)

保護者	「学校へ楽しく通っている」 「適切な進路相談進路情報の提供」 「保護者の相談の対応、解決の取組」 「子供の実態把握、個に応じた指導」 「子供たちを尊重したかわり」 「学校行事の時期、内容」
教職員	「いじめに関する未然防止」 「小・中・高連携した性の指導」 「日々の授業の実践と評価」 「自立活動の視点からの指導内容の工夫と手立て」 「インターネットを安全に利用できる授業の展開」 「小・中・高との交流交流と体験活動の充実」 「保護者の来校時期と回数」

(1) 保護者がC、D評価を付けた項目

- 「学校へ楽しく通っている」 2人
- 「学校行事の時期、内容」 4人
- 「適切な進路相談・進路情報の提供」 1人
- 「子ども一人一人に応じた指導・尊重した指導」 1人
- 「保護者の相談の対応」 1人

(2) 保護者がE評価「わからない」を付けた項目

- 「家庭、学園、関係機関、地域との連携」 5人
- 「広報誌、ホームページ等での発信」 5人
- 「授業参観やPTA活動の時期等」 3人
- 「学校へ楽しく通っている」 2人
- 「適切な進路相談・進路情報の提供」 2人

【自由記述から】

●高等部保護者の皆様から「交通量の増大に伴う注意」や「長期休業中の進路指導の充実」等のご意見をいただきました。

学校前の国道118号線(石川街道)の交通量が増加し、スピードを出す車も増えたことから、石川警察署に相談させていただきました。取り急ぎ児童生徒の登校時に警察車でパトロールし、交通安全を確認して下さるそうです。学校でも、児童生徒への交通安全指導を行ってまいります。

●中学部保護者様からは「学級担任の配置について」のご意見をいただきました。

人事異動に伴い学級担任が変わったり、児童生徒数の変化によりクラス編成が変わったりすることがございます。引き続き、なるべく児童生徒への負担がないよう配慮してまいります。

●小学部保護者の皆様からは、「子供と向き合った指導」や「体験活動の充実」等が良く実践されているとのご意見をいただきました。また、「他校との行事の重複」「通学バスの臨機応変の対応」についてご意見をいただきました。

ご意見は真摯に受け止め、次年度はより一層、生徒一人一人に寄り添い、保護者の皆様と共通理解を持ったうえで、自立につながる力の育成の指導に努めます。

●教職員からは、「小・中・高等部が一丸となった性の指導」「交流活動の充実」「PDCAサイクルに基づいた授業の実践」「保護者の来校時期と回数」等について改善要望の意見が出ました

これらの意見は、今年度の「学校経営・運営ビジョン」で掲げた3つの柱における重点事項の内容とかかわりの深いものです。よって、引き続きこの重点事項を大切にしながら取り組んでいきたいと思っております。

3 生徒アンケートの結果

＜評価項目＞

①学校は楽しい。②わかりやすく勉強を教えてくれる。③進路の話は分かりやすい。(高等部のみ)

④先生はよく話を聞いてくれる。⑤仲のよい友達がいる。

全ての項目で90%以上の「A」評価でした。「B」評価は、「学校は楽しい」の項目では7.3%、「先生はわかりやすく教えてくれる」の項目で1.8%、「進路の話は分かりやすい」(高等部のみ)で4.2%、「仲の良い友達がいる」の項目で7.3%でした。

自由記述では、友達関係のことや、授業についての意見も出された。しかし、「先生は、よく話を聞いてくれる」が100%のA評価を得ており、不安を抱えている生徒への対応が大切であることが読み取れます。

本年度に引き続き、生徒の生活の様子を常に把握し、情報の共有に努めとともに、生徒の気持ちや考えを丁寧に読み取りながら、学部全体で細やかな対応を行うよう心掛けます。

4 学校評議員会の評価から

■地域との交流について

地域との交流はどんどん広げてほしい。例えば、高等部と石川高校との交流なども双方にとって有意義なものではないか。

■卒業後の支援について

保護者の不安は卒業後のことであることが多い。早めに対応し、障がい年金のことなども説明する必要があるのでは。

■保護者同士のつながりについて

保護者同士が何かの時に手をつなぎ心をつなげることがあると子供の将来にも希望が持てると思う。保護者同士のつながりも大切にしてほしい。

■授業見学の感想

子どものことをよく考えて指導しており、ありがたく思っている。子どもたちが目標を持ち、ステップアップしながら自己肯定感を高められるような指導を引き続きお願いしたい。

5 次年度に向けて

学校評価の結果を受けて、保護者や地域、たまかわ校と連携し、地域に根ざした開かれた学校を目指します。今後もご理解ご協力をよろしくお願いします。

(1) 保護者や地域との連携を深め、信頼される学校づくりに努めます。

校長のリーダーシップの下、教職員がチームで教育活動に取り組み、保護者の皆様との共通理解と連携を重視し、一人一人に寄り添った指導に努めます。一方で、地域との交流や体験活動に積極的に取り組み、地域に開かれた学校づくりを行います。

(2) 小学部・中学部・高等部と連携した指導を行い、自立し社会参加できる人間を育成します。

個別の教育支援計画や個別の指導計画を活用し、学びの連続性を考慮した学部間で連携した実践を行います。